

カーボン・オフセットキャンペーンの取り組みについて

2020. 02. 03

<自然体験>

国立公園などでの自然観察を行ない、スカウトの目で見えた国立公園を写真に収め、現地でしかできない自然体験を味わう。キャノンマーケティングジャパン（株）様の協力により貸与いただいたプログラム用カメラを用いて撮影する。



<環境学習>

現地でレンジャーなどから国立公園や自然環境の話聞き、実際におきている環境問題に対して、自分ができることを考える機会とする。日本連盟の環境学習プログラムに読み替えることが可能。



<奉仕活動>

現地を訪れる観光客や来訪者に対して、カーボン・オフセットのチラシを配布し、個人の意識啓発や社会に対しての呼びかけを行なう。実行委員会よりキャンペーンバッジを授与する。



<参加スカウトの声>

(ボーイ隊・中学生の声)

- ・ このようなことをこれからもしっかりと守っていきカーボン・オフセットなどに協力していきたいです。あと、これからも森林などをきれいに使っていきたいです。
- ・ いろんな生物などについて知ることができたと、とてもいい話を聞けてできてよかったです。
- ・ このカーボン・オフセットで、僕は自然がどんどん無くなっていっていることが分かりました。僕にもできることがたくさんあると思うので、これからの生活でしっかりと守っていきたいです。
- ・ 10年、20年、100年後も木々が存在し続けるよう頑張ります！STOP！温暖化！！
- ・ 今回の体験で、自然の多様性や大切さを学びました。クラスの仲間や親などに自然の大切さを伝えていきたいと思います。

(カブ隊・ビーバー隊のエコアイデア)

- ・ エコバッグを持ち歩く
- ・ リサイクルやごみを分別する
- ・ 水を出しっぱなしにしない
- ・ 食べ物を残さない
- ・ 電気をこまめに消す
- ・ ポイ捨て禁止！
- ・ (車でなく) 自転車に乗る
- ・ 動物を大切にする
- ・ えんぴつなど無駄なく使う

